

憲法改悪反対、平和憲法第9条を守り広め、平和で安心して暮らせる社会の実現を目指す11・1集会



美世志会の7名（左から）小黒さん、斉藤さん、ハツ田さん、上原さん、山田さん、大潤さん、梁次さん

11月1日に浦和コルソホールにおいて、美世志会の7名と150名を超える支援・連帯する仲間が結集し、憲法9条の「危機」を自覚し、「えん罪・JR浦和電車区事件」を教訓に連帯する仲間と共になたかいつくり出すために集会を開催しました。

集会に参加いただいたご来賓のみなさま

JR総連 執行委員長	山口 浩治 様	防衛ジャーナリスト	半田 滋 様
JR総連 広報部長	伊藤 俊也 様	9条連 事務局長	齊藤 弘敦 様
OB会 会長	奥山 光昭 様	鉄道福祉事業協会	田城 郁 様
OB会 事務局長	森 将美 様	鉄道福祉事業協会	清水 卓 様
OB会 事務局次長	遠藤 政之 様		



防衛ジャーナリストの半田滋氏より講演をいただきました。

主催者あいさつ(要旨)

佐藤中央執行委員長

「えん罪・JR浦和電車区事件」(以下「えん罪・浦和事件」)から21年を迎えました。JR東労組はこれからも美世志会と共に弾圧に抗したたかいついていきます。また、ウクライナやガザ地区など、兵士のみならず市民・子どもの命と生活が奪われていることを許す訳にはいきません。JR東労組は改めて「あらゆるテロと戦争に反対」であることを表明します。

2001年9月11日に米同時多発テロが発生し、JR東労組の創設者である松崎さんが「世紀の犯罪人ブッシュ・ブレア・小泉『鬼の咆哮』」を緊急出版しました。20年にわたったアフガン戦争は最終的に多くの市民を含む約17万6千人の命が奪われました。そして、2002年11月1日に不当逮捕された美世志会の仲間が「労働組合が反戦平和なんて生意氣、貰い上げだけやっていれればいいんだ」と取り調べ時に言われた、これが弾圧の本質です。

松川事件、「えん罪・浦和事件」を担当された後藤昌次郎弁護士が私たちに「国家にしかできない犯罪は戦争とえん罪」と話されました。改めて「戦争の本質」について考えていかなければなりません。

ウクライナ戦争では、軍事侵攻からの死者数は50万人近くに及びます。戦争に加担している各国の軍需産業はこの戦争を利用して武器弾薬を消費させ、新たな兵器開発も含めて莫大な利益を上げています。

日本はこれほどの戦争による犠牲者は軍と民間人を合わせて310万人以上にも及びます。失われた命と戦争の愚かさ、反省から戦争放棄と戦力不保持の憲法9条がつけられ、他国に脅威を与えない兵器を保有してきませんでした。

しかし、安保関連3文書の「中期防衛力整備計画」では、2023年からの5年間に43兆円の防衛予算で防衛力を抜本的に強化し、世界第3位の軍事大国になることを表明しています。また、6月に成立した「防衛産業基盤強化法」は、防衛産業に対して国が直接支援・海外輸出を後押しするために性能や仕様を委ねるコストを助成することや、事業の継承が困難になった場合、「自衛隊の任務に不可欠な装備品」と判断すれば、工場を買収するなど生産基盤を維持することになっており、国が軍需産業を支援するということです。

そして、これまでの歴史のなかで労働組合が戦争の共犯者であったことを忘れてはなりません。私たちが鉄道で働く労働者は、戦争になれば軍事輸送を担うこととなります。「労働組合が平和運動なんて生意氣だ!」この「えん罪・JR浦和事件」における弾圧の意味するものを、職場での議論を通じて組合員の皆さんと一致しながら、私たちJR総連・JR東労組は「抵抗とヒューマニズム」の精神でテロや戦争の

ない平和な社会と組織強化、1万人組織実現に向けてこれからもたかいついていくではありませんか! いま沖縄では、台湾有事なども念頭に、政府は宮古島に住民が避難するためのシェルターを新たに整備する方向で調整され、与那国島では民間空港を使用した輸送機空輸や戦車が公道を走る状況となり、再び沖縄が戦場と化し、捨て石にされるという危機感からすでに住民の皆さんのたかいつきが始まっています。この歴史の転換と言えざる現実を一致させ、職場から、地域から連帯する仲間と共になたかいつくすことを目指します。

川崎運輸区分会が発生した事態です。会社の状況報告によると8月24日に見習運転士が乗継交代した際に交代運転士の動線を防いだということ未加入者の教導員が組合員の袖を引っ張り、組合員が転倒し、頭部打撲・頸椎捻挫・脳震盪・記憶障害になり、9月28日まで療養。9月29日からの職場復帰をもって会社は就労可能となりました。記憶障害にまでなった状況を隠蔽して、袖を掴んだとされる教導員運転士の状況も曖昧なまま、会社は、転倒による労災申請で済ませようとしているのです。

また、会社は原因を究明せず事実を明らかにしようとしません。会社の状況報告では「袖ですが、当該組合員は「襟」と記憶しています。そしてあることが「ホームカメラ」の当日の映像は消えている、ビデオ

はない」と会社は回答しています。記録が残っていないなどでは証拠隠滅です。このような会社の自己保身と言えざる姿勢を許すことはできません。

また弁護士を通じて会社に対して、宇都宮運輸区における懲罰的日勤教育で乗務復帰に向けた教育と管理者的による言動に起因して精神障害を発生し、療養および欠勤を余儀なくされた労災保険給付の請求に伴う事業主証明欄への記入を申し入れました。しかし会社は、「同社員の業務理解、習熟度、取組み姿勢等に応じて、業務上必要かつ相応な範囲の教育を実施したものであり、精神障害の発症が当社の教育に起因するものである」という主張には疑義を呈されるを得ません」と回答しました。医療保護入院にまで追い込みながら、ハラスメントを認めないという会社姿勢は許せません。自ら向けられた問題と受け止め、これからは共になたかいつくすではありませんか!

責任追及の姿勢とたかいつくすことなしに安全は守れません。指摘を受け止めない、原因究明もできない官僚化しているJR東日本ということを自覚し、人の命以上に「儲け」が優先される社会に対して、これからは美世志会と共に「抵抗とヒューマニズム」の精神で弾圧、戦争のない平和で安心して暮らせる社会の実現に向けて奮闘しましょう!

行動提起

平和・人権・民主主義を守り抜くために美世志会と共になたかいつくす!

JR東労組は、テロにも戦争にも反対です。発生している現状に思いを馳せ、戦争の悲惨さや平和の尊さを今こそ考えるべきです。戦争によって人間の命が奪われ、自然が破壊される一方、戦争によって利益を得る者たちがいることも忘れてはなりません。武器を売り、戦争によって利益を得る者は「死の商人」と呼ばれます。「平和国家」から「死の商人国家への墮落」を許して良いのでしょうか。

現在の憲法9条は「危機」に瀕しています。憲法96条で、憲法の改正は国会で衆参総議員の3分の2以上の賛成後、国民投票によって過半数の賛成が必要と定められています。衆参ともに改憲派が3分の2を超えているいま、憲法改正議論が可能となります。

川崎運輸区分会が発生した事態です。会社の状況報告によると8月24日に見習運転士が乗継交代した際に交代運転士の動線を防いだということ未加入者の教導員が組合員の袖を引っ張り、組合員が転倒し、頭部打撲・頸椎捻挫・脳震盪・記憶障害になり、9月28日まで療養。9月29日からの職場復帰をもって会社は就労可能となりました。記憶障害にまでなった状況を隠蔽して、袖を掴んだとされる教導員運転士の状況も曖昧なまま、会社は、転倒による労災申請で済ませようとしているのです。

また、会社は原因を究明せず事実を明らかにしようとしません。会社の状況報告では「袖ですが、当該組合員は「襟」と記憶しています。そしてあることが「ホームカメラ」の当日の映像は消えている、ビデオはない」と会社は回答しています。記録が残っていないなどでは証拠隠滅です。このような会社の自己保身と言えざる姿勢を許すことはできません。

また弁護士を通じて会社に対して、宇都宮運輸区における懲罰的日勤教育で乗務復帰に向けた教育と管理者的による言動に起因して精神障害を発生し、療養および欠勤を余儀なくされた労災保険給付の請求に伴う事業主証明欄への記入を申し入れました。しかし会社は、「同社員の業務理解、習熟度、取組み姿勢等に応じて、業務上必要かつ相応な範囲の教育を実施したものであり、精神障害の発症が当社の教育に起因するものである」という主張には疑義を呈されるを得ません」と回答しました。医療保護入院にまで追い込みながら、ハラスメントを認めないという会社姿勢は許せません。自ら向けられた問題と受け止め、これからは共になたかいつくすではありませんか!

- ① 9条連ニュースの購読拡大
- ② 19日行動などの各種行動への参加
- ③ 機関紙や情報の作成
- ④ 新聞投稿

ありとあらゆる行動を通じて、美世志会と共になたかいつくす仲間を拡大していきます。う!